

次世代ロボット研究開発連携推進のための領域検討会の開催について

開催趣旨

「次世代ロボット」の研究開発については、これまで連携施策群において、府省連携のもとでの研究重複排除と効率的推進に向けた取組を行い、関係府省等間での情報共有を進めるとともに、「次世代ロボット」の研究開発の共通基盤となる「共通プラットフォーム」の開発普及に向けた活動を行うなど当初の目的を達成し、本年3月をもってその活動を終了することとなった。

しかしながら、人間との共存が前提となる「次世代ロボット」に関しては、サービス分野等で新たな産業として普及発展が強く期待されるものの、その活動が自立的に展開されるようになるためには、利用展開面での課題も含め、まだ多くの技術的な課題を克服していくことが必要であり、そのためには、連携施策群で実現させた「共通プラットフォーム」を中核として、引き続き、関係府省連携に役立つ情報共有化等を図るとともに、必要に応じ国に期待される研究開発の役割と方向性等について議論し、提言等をまとめることのできる場が求められる。

連携施策群がこれまで担ってきた役割とその成果については、その終了後、総合科学技術会議の分野別PTが担うこととされていることから、上記趣旨に基づき、別添開催要項のとおり情報通信PTのもとに、次世代ロボット研究開発の連携推進のための領域検討会を開催することとする。

次世代ロボット研究開発連携のための領域検討会
開催要項（案）

1. 本領域検討会は、「次世代ロボット研究連携推進会議（仮称）」（以下「連携会議」）と称し、総合科学技術会議情報通信PTのもとで開催する。
2. 活動
 - ① 連携会議は、会合を開催し、以下のような事項について検討等を行う。
 - ・ 「次世代ロボット連携施策群」の成果である「共通プラットフォーム」の向上、普及促進方策
 - ・ 「次世代ロボット」の研究開発等に係る関係府省間の継続的な情報共有と新たな連携可能性の模索
 - ・ その他、「次世代ロボット」研究開発促進に向けた戦略、方策、等
 - ② 連携会議は、活動状況及び検討結果について、適宜情報通信PTに報告する。
3. 構成
 - ① 連携会議は、情報通信PTのロボット領域担当委員（以下「担当委員」）が主催する。
 - ② 連携会議のメンバーは、担当委員が指名したものとする。
4. 運営
 - ① 連携会議は必要に応じ担当委員が招集する。
 - ② 連携会議には「次世代ロボット」研究開発に関係する府省庁から出席を求めることがある。
 - ③ 連携会議の事務局は情報通信PT事務局が行う。
 - ④ その他、運営に必要な事項は連携会議において定める。

(参考)

次世代ロボット研究開発連携のための領域検討会への
参加予定者（案）

【議長】

佐藤 知正 東京大学大学院 教授
(情報通信PTロボット領域担当委員)

【メンバー】

藤江 正克 早稲田大学理工学術院 教授
長谷川 勉 九州大学大学院 教授
大道 武生 名城大学理工学部 教授
萩田 紀博 ATR 知能ロボット研究所 所長
松日楽 信人 東芝(株) 研究開発センター 技監
比留川 博久 (独)産業技術総合研究所 副研究部門長
國吉 康夫 東京大学大学院 教授
大場 光太郎 (独)産業技術総合研究所 研究グループ長
大山 英明 (独)産業技術総合研究所 主任研究員
濱田 彰一 (社)日本ロボット工業会 技術部長

【関係府省】

総務省／消防庁
文部科学省
厚生労働省
農林水産省
経済産業省
国土交通省

《科学技術連携施策群「次世代ロボット連携群」関係府省および社会還元加速プロジェクト「高齢者・有病者・障害者への先進的な在宅医療・介護の実現」関係府省》